

# みんなの本だより



芦屋市立図書館本館 〒659-0052 芦屋市伊勢町12番5号 TEL 31-2301

## 【臨時休館の期間延長について】

**期間：令和2年4月1日(水)～15日(水)(予定)**

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内図書館施設は臨時休館期間(休室)を延長します。なお、期間中にご利用いただけるサービスは以下のとおりです。

- ① 予約本の受渡し
- ② 返却
- ③ 資料の予約(インターネット予約のみ)

### ① 予約本の受渡し

場所：図書館本館西側出入口，打出分室入口，大原分室入口  
(その他の施設は下記へお問合せください。)

時間：通常時の開館・開室時間と同じです。

※貸出期間・予約本の取り置き期間の変更はありません。

### ② 返却

全図書館施設の開館(開室)時間中にご返却いただけます。  
市内の返却ポストも通常どおりご利用いただけます。

### ④ 資料の予約

インターネット予約のみ可能です。

※インターネット予約をご利用いただけない方は図書館まで  
ご相談ください。

上記の内容については今後変更となる可能性があります。長期の休館となりご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆ 新着図書 ◆ (このリストは前々月に入った本の一部です)

	書名	著者	出版社	記号
◆日本文学・外国文学◆	海の十字架	安部 龍太郎	文藝春秋	Fア
	茶聖	伊東 潤	幻冬舎	Fイ
	小さき者たち	粕谷 知世	早川書房	Fカ
	帝都地下迷宮	中山 七里	PHP 研究所	Fナ
	箱とキツネと、パイナップル	村木 美涼	新潮社	Fム
	あたしの拳が吼えるんだ	山本 幸久	中央公論新社	Fヤ
	聡明な女は愉しく老いる	桐島 洋子	海竜社	Sキ
	「好き」の因数分解	最果 タヒ	リトルモア	Sサ
	病気のご利益	横尾 忠則	ポプラ社	Sヨ
	誰にでも親切な教会の お兄さんカン・ミノ	イ ギホ	亜紀書房	929 イ
	くたばれインターネット	ジャレット・コベック	P ヴァイン	933 コ
	友だち	シーグリッド・ヌーネス	新潮社	933 ヌ
	暇なんかないわ大切なこと を考えるのに忙しくて	アーシュラ・ K. ル=グウィン	河出書房新社	934 ル
	アラバスターの壺/ 女王の瞳	ルゴーン	光文社	963 ル
旅に出る時ほほえみを	ナターリヤ・ソコロワ	白水社	983 ソ	
◆人文・社会◆	<内戦>の世界史	デイヴィッド・アーミティジ	岩波書店	209 ア
	戦争とは何か	多湖 淳	中央公論新社	319.8 タ
	騒音の文明史	原 克	東洋書林	519.6 ハ
	国立西洋美術館名画の 見かた	渡辺 晋輔	集英社	723 リ
	北岳山小屋物語	樋口 明雄	山と溪谷社	786.1 ヒ
	ぼくは翻訳について こう考えています	柴田 元幸	アルク	801.7 シ
	◆自然科学◆	身のまわりのすごい 「しくみ」大百科	涌井 良幸	KADOKAWA
日本の山ができるまで		小泉 武栄	エイアンドエフ	455.1 コ
進化のからくり		千葉 聡	講談社	467.5 チ
絶滅動物は甦らせるべきか?		ブリット・レイ	双葉社	480.9 レ
魚の自然誌		ヘレン・スケールズ	築地書館	487.51 ス
歴史を変えた10の薬		トーマス・ヘイガー	すばる舎 リンケージ	499.02 ハ

## ★★ こどもの本だな ★★

### ■「昔の道具 もののうつりかわりを見てみよう」

38 ム 国土者編集部／編 国土社

昔、電気もガスもなかった頃、人々はどのように生活していたのでしょうか。身のまわりにある道具のうつりかわりについて、古いものから順に写真で紹介しています。



### ■「有毒！注意！危険植物大図鑑」 47 ヨ

保谷 彰彦／写真・文 あかね書房

全身まひや呼吸困難といった中毒症状を起こす植物、最悪のケースで死にいたる危険な植物を毒のタイプ・分類別に収録しています。開花期、有毒部位や成分などを写真やイラストとともに説明しています。



### ■「アリババの猫がきいている」 Y シ

新藤 悦子／作 ポプラ社

シャイフは、イランの長老族という血筋で人の言葉がわかるペルシャ猫。飼い主のアリババが出張中、世界の民芸品を扱う「ひらけごま」へ預けられました。夜中になると、民芸品たちがしゃべりだし、それを聞いていたシャイフは・・・。



### ■「スポーツびっくり図鑑」 78 ス

望月 修／指導 小学館

観戦するとき注目したいポイントや得点の入り方、勝敗のつけ方、知っているとな楽しいルールなど、写真とイラストで解説しています。97競技、約200種目のスポーツを掲載。

## 今月はこんな本

「さくらがさくと」 E サ

とうごう なりさ／さく 福音館書店

毎朝、桜の木がならぶ川沿いの道を、会社員や小学生、高校生たちがわき目もふらず駅に向かって歩いてきた。今朝は、いつもの朝とちょっと違う。駅に向かう人々は、思わず足を止めて見上げたその先に・・・。



